東京地本闘争委員会FAX速報

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.29

「カネで心を奪う」脱退策動発覚！

脱退させた組合員と飲んだら、レシートを持って来い！

某乗務員職場から
リーク情報

管理者からの急な食事会や意見交換会は要注意！

目先の利益にだまされず、東労組に結集しよう！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.31

全組合員に訴えます！東京地本は悩んでいる人に寄り添います！

全組合員に訴えます！
会社による異常な組合脱退強要＝不当労働行為を絶対に許さない！
ＪＲ東労組の旗のもとで団結し、格差ベアに終止符を打ち１８春闘を勝利しよう！

今、東京地本管内で数多くの脱退者が出ています。特に本社・支社内で働く企画部門と運車・営業・工務職場の管理者を中心とした方たちです。先ずは、組合員の皆さんに、不安と動揺を与え、このような事態になってしまっていることに対して、心からお詫びを申し上げます。そして、組合員の皆さんに「今、何が起きているか！」その事態を明らかにします。事実関係を見極め「誰が言っているかではなく、何が正しいのか」を自ら思考し、忖度せず、ＪＲ東労組の旗のもとに結集することを訴えます。

２月１７日に東関東地域協議会が発行した「問答集その１（東京地本ＨＰ参照）」で提起していますが、経営側と対立しているのは「賃金そのものである社員・組合員の将来を左右する重要なベアのあり方」を２０１２年の人事・賃金制度の導入時、意図的に隠し、一切議論しなかったことに端を発しています。対立が解消されないのは、経営側が根拠にしている所定昇給額をベアの算出基礎としている「職責に応じた処遇」「わかりやすさ」「納得感」「公平性」という主張に、多くの組合員が納得していないからです。そして、ＪＲ東労組が「ベアに格差を持ち込むべきではない」と主張している根拠は、生活の維持・向上分や子供の養育費であるベアにまで親の職務・職責を反映させ、格差をつけ差別するのは企業として度を越しているからです。

私たちＪＲ東労組が求めているのは、大幅賃上げでも、産経新聞や経営陣が喧伝しているような「未来永劫の一律定額ベア」でも、ストを目的化しているわけでもありません。格差を生み出す「所定昇給額をベアの算出基礎」にしないことを求めています。ヤフーニュースでも「最初からスト戦術を封印しては力を持てない」など激励のメッセージが寄せられています。連合の多くの労働組合がそうであるように闘争体制を配置し、それを手段に団体交渉を行うのは春闘を闘う戦術として当たり前のことです。

それにしても、団体交渉が始まる前に脱退策動が開始されていることに強い違和感と憤りを持ちます。２月９日、野球部の脱退届を皮切りに、２月１２日、産経新聞が「ＪＲ東労組、スト検討」の記事が掲載されました。それと軌を一にして始まった本社幹部の職場巡回は、ＪＲ東労組があたかも無理難題を求めているように描きだし喧伝しています。

その後、支社内から脱退者が増え「脱退のノルマがあるようだ。脱退届を書かないと仕事上で課長決済をもらえない。自分の意に反して仕方なく脱退届を書いた」「支社ビルは毎日脱退強要でウンザリ。業務が手につかない。精神的にも苦しい」現場からも「上長から組合に所属しているとスト賛成とみなす。毎日職場に経営幹部が来るのは異常だ。これではやめるしかない。」また「俺がやっているのは、脱退強要。犯罪です。しっぽはいつか切られる。組合をやめさせてしまったみんな、ごめん。謝っても謝りきれない。心が壊れる。会社も壊れる」など告発文が連日送られています。「泣きながら申し訳ない」と脱退届を提出する方が数多くいるのは、自分の意に反しているからです。

こんなことが許されて良いのでしょうか！ブラック企業の極みであり、憲法第２８条で保障された団結権の侵害です。そして、企業権力・職務上の地位を濫用し、経営対個人に持ち込み、なりふり構わず脱退を強要するのは、極めて悪質で、労働組合法第７条の不当労働行為であり犯罪です。会社は「スト」という言葉に異常に反応し、冷静さを欠き狂乱化しています。人権を踏み躙り、稚拙で人間性、倫理観を失った姿に「経営の品格」を感じません。東京地本は、悩んでいる人に寄り添います。そして、この異常な脱退強要＝不当労働行為には絶対に屈せず、組織の総力をあげて断固立ち向かい、第三者機関など、あらゆる手段を尽くしてたたかいます。

組合員の皆さんに訴えます。

すでに、脱退を撤回する組合員が多くでてきています。新聞記事や経営陣の訓示に惑わされず、騙されず、真実を見極めることです。一時の空気に流されないこと。そして、本日開催される本部ー本社の団体交渉に注目して下さい。私たちが譲れないのは「所定昇給額をベアの算出基礎にしない」ことです。本部交渉を支えるために「リングに上がってファイティングポーズ」をとることはかわりません。職場から積極果敢に立ち向い、総団結しよう。

2018 年 2 月 23 日
ＪＲ東労組東京地本

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.32

大崎運輸区分会での露骨な脱退策動！

東労組は組合員を全力で守ります！

組合員を泣かせる会社を許さない！

One

JR東労組　大崎運輸区分会情報
2018. 2. 23 No.265
発行責任者　小林 達也
編　　集　情宣部

大崎運輸区・副区長による不当労働行為発覚！

用意周到していた「賃金控除停止依頼書」を、組合員へ手渡す。
この行為は、東労組の脱退を促す不当労働行為である！
責任組合・東労組との信頼関係を破壊させているのは会社だ。

■ 2月20日（火）　太田常務が職場に来て、訓示を述べる。

■ 2月21日（水）
- 11:40頃　明けの組合員が分会役員へ東労組の脱退を打ち明ける。分会役員は留まるように話す。
- 15:00過ぎ　支社運用課・坂本グループリーダーが来区。
- 15:15頃　脱退を打ち明けた組合員が、まだ制服で本区にいたので、泊りの分会役員が組合員の「心境・悩み・不安」などの話しを聞く。
- 15:20頃　涙を流しながら組合員が、茶封筒を分会役員へ差し出し、分会役員が「脱退届、賃金控除停止依頼書」の２つを確認する。
- 16:30頃　明けで制服姿のその組合員と区長が、内勤会議室に入っていく。

■ 2月22日（木）　支部役員が副区長と話し、副区長は「賃金控除停止依頼書を組合員へ渡した」こと話す。

組合員の皆さん、東京地本のHPをご覧ください。
会社による「東労組脱退策動」を赤裸々に訴える
脱退した多くの人々の声が掲載されています。

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.33

方転台

2018年 2月23日 号外
東日本旅客鉄道労働組合
東京地方本部 品川支部
品川駅分会 機関紙
発 行 者： 谷口 裕章
編 集 者： 情 宣 部

自分の意に反して脱退届を提出した仲間へ

職場内でも脱退工作が行われていること
分会は実態を掴んでいます！

脱退するなら今だぞ

試験に受からないぞ

流れに乗った方がいい

「自分の意志です」のみ言うこと

情報紙は受け取るな

こんなこと言われていませんか？（悪質ですねぇ）

今の状況を聞きたい！真実を知りたい！方は
分会長・書記長などへ声をかけてください
あっ！声をかけると周りから見られて気まずいでしょうから、
個人的に連絡してください✌

ぜひ検索！！「ＪＲ東労組東京」
東京地本のホームページに真実が載ってます！

東京地本は、今起きていることの真実を明らかにしていきます！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.34

会社の狂乱的な脱退策動を許さない！

不当労働行為摘発強化宣言

これまで「東京地本闘争委員会ＦＡＸニュース No.18、19、21、25、32（上野車掌区・大田運輸区・大崎運輸区などでの会社による脱退策動）」や「東京地本闘争委員会ＦＡＸニュース No.29（カネで心を奪う脱退策動）」でお知らせした通り、会社による東労組組合員の脱退策動が相次いで発覚しています。地本は、それら事象の事実を把握した上で情報発信しています。

いま会社による脱退策動が至る所で発生し、多くの組合員が悩み・苦しみ、本来業務に集中できていない状況です。職務上の地位を利用して労働組合からの脱退を促すことは、憲法第２８条で保障された労働者の団結権を侵害する不法行為であるばかりか、労働組合活動に対する支配・介入の不当労働行為です。

このままでは、鉄道の安全が守れません。よって、地本は本日「不当労働行為摘発強化宣言」を発出します！

組合員の皆さんからの情報提供を求めます！

特に「かんり部会員の皆さん」

①本社・支社幹部が職場を訪問した際は、脱退策動に警戒してください！

②管理者への個人面談では、メモを取り事実確認を相互に確認してください！

③不安な事・気がかりな事がありましたら各分会役員へ連絡・相談してください！

不当労働行為を絶対に許さず、然るべき対応を行います！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.35

3職場で脱退を撤回！

脱退撤回者の声

「組合の要求は全うな話ですよね！
会社はウソをついている！早く団交の席について、話し合って解決してほしい！
脱退届けは、意味もわからず、みんな書いていると言うから書いたけど、組合は絶対に必要です！」

熱烈歓迎！この流れに続こう！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.36

人権を踏みにじり、稚拙で人間性・倫理観のない会社による組合脱退強要は重大な犯罪だ！真実の告白を明らかにする！

★ストは反対。ストをやったら考えるが、ストをやってもいないのに、脱退はおかしいと思う。

★輸送総括助役に「どうなの」「どっちにするの」と聞かれた。「何が」と答えた。

★サラリーマンなので苦しい。まわりが辞めていく中で苦しい。でも、最後まで見極めてから辞める、辞めないを決めたい。メディアで、このことを知った。急に凄いことになってきた。こんな中で仕事に支障がでないのか。ミスをしそう。

★まだ、ストをやってないのに、世間が騒いでいる。何でみんな辞めていくんだろうと思う。やってみて自分に被害があったり、不利益なことがあったら考えてみれば良い。組合は何も守ってくれないという人が居たが、 かつて入社時に、紙1枚で転勤を言われた時、おじさんたちが守ってくれた。組合の人たちだった。 みんな早合点しすぎ、組合にゾッコンではないが。みんな一人では何もできないと思う。だから組合に入っているんですよね？辞めて一人でどうするの？助けてほしい時に、誰も助けてくれないと思う。 組合は1回辞めてもまた入れるんですか？この駅だけ騒ぎすぎ、辞めた人が戻って来た時に迎え入れて欲しいほしい。もしかすると私も辞めるかどうかわからないけど…。

★〇〇技術センターでおきている不当労働行為を告発します。点呼で脱退の強要が行われてます。今週始めに東京支社勤労課から事業便で賃金控除停止依頼書が100部以上届きました。会社にずっと監視されている感じで、仕事が手につきません。このままでは大きな事故が必ず発生します。点呼でストライキでお客さまに迷惑がかかると言いますが、事故の方がお客さまに迷惑がかかります。私はいままで通りに仕事がしたいです。この不当労働行為をとめてください。

東京地本ホームページに寄せられた声の一部です！

※〇〇と表記した職場名は、地本で把握しています。

ホームページで皆さんの声をお寄せください！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.37

人権を踏みにじり、稚拙で人間性・倫理観のない会社による組合脱退強要は重大な犯罪だ！真実の告白を明らかにする！

★ここのところ、毎日のように会社幹部が来ている。その都度、技セで管理者を集めて会議をやっている。メセからだと、移動に往復1時間、会議に1時間、毎日2時間も本来業務が滞る。もちろんその分は超勤になっている。毎日見ていてかわいそうだ！会社が毎日2時間ストライキやっているようなものだ。職場では事故を風化させないための大切な会議を毎年開催しているが、今年は幹部が来て、ミーティングが終わらず、結局5分遅れで開始となった。川崎事故をはじめ、今もなお事故の連鎖が止まらないのに、命や安全より大切な会議なのか？

★今回の急激な組合脱退工作は、会社側からの意図的な仕掛け方を感じますね。皆さん労働組合加入の意味が薄いように感じます。もう一度労働組合の必要性を考えてもらいたいと思います。組合脱退したら会社の言いなりですよ!

★ホームページに色々と書いてあると職場で噂になっていて、ホームページを見させていました。本当に色んな事がありました。交渉を申し入れたのが2月16日で、交渉の日は2月23日だそうですね。分からないんですが、交渉するのにここまで期間が開くのでしょうか？子供に質問を聞かれた親なら直ぐに答えるか、次の日には答えると思います。会社組織だとこんなに時間がかかるんですかね？一般的におかしいかなと思います。今日、会社の書面に「組合がようやく交渉の日を決めてくれた」と書いてありましたが、あんな文書で社員をだませると思うのでしょうか？組合のホームページには、申し入れしてからの事も書いてありますし、どちらが本当のことを言ってるか分かります。私の職場でも脱退者が続出しています。職場の空気は最悪、人間不信になりそうです。周りは、すでになってる人もいます。真実は何かだけを知りたいのです。今後も情報を掲載して教えてください。

東京地本ホームページに寄せられた声の一部です！

JR東労組 東京地本 で 検索 もしくは 上記QRコード よりアクセス！

ホームページで皆さんの声をお寄せください！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.38

組合脱退強要で「鉄道の安全」を脅かす会社幹部

大田運輸区内の喫煙所にて、12時頃、職場訪問していた支社人事課の人間が乗務前の運転士組合員に対して・・・。

早く脱退した方が良いよ！

と、発言しました！

言われた運転士組合員は、不安を抱えて乗務に出場しました。

乗務員職場・またその休憩所は、次の乗務に備えるための場所です！乗務員を不安に追い込む会社の行動は、乗務員に不安を与え、「鉄道の安全を脅かす行為＝お客さまの命をも脅かす行為」です！

絶対に許される行為ではありません！

東京地本闘争委員会FAX速報

東京地本HP これまでの情報が閲覧できます

JR東労組東京地本闘争委員会
2018 2.23
No.39

JR東労組闘申第1号　団体交渉を行う！

今回の交渉は、２０１４年の春闘から続く労使の紛争状態を解決するための重要な場である認識を労使で合わせました。その上で、われわれの求めている「所定昇給額を算出基礎としないこと」を迫るため、第１項、第３項、第２項の途中まで議論を行いました。

第3項　ベースアップを実施する場合、「所定昇給額」を算出基礎としないこと。

ベースアップを実施するにあたって、これまでベースアップの算出基礎にしてきた「所定昇給額」にこだわらないことを確認！

第2項　18春闘におけるベースアップは「全組合員一律定額ベア」を実施すること。

会社の考えるベースアップの要素：
- 生産性向上分の成果配分
- 社会状況の変化
- 物価上昇による生活維持向上分
- 賃金上の課題考慮

などに、柔軟に対応していくもの

組合：物価上昇に伴う生活維持向上分は誰にも等しく影響する要素だ

一致

会社：物価上昇は全員に等しく降りかかるものだ

第1項　18春闘及びそれ以降のベアのあり方について、17春闘での3点の労使合意事項を出発点とし、議事録確認を形骸化しないこと。

17春闘における到達点		
一律定額の実施		毎年度議論を行い決定
所定昇給額による手法にこだわらない	一致	こだわらない
職責に応じた処遇は手当で行う		手当の見直しだけで対応するものでは無い

会社の認識

ベースアップを行う際は「所定昇給額」を算出基礎にすべきではない！賃金で安心して働ける職場をつくりだそう！！

※次回は2月26日です。第2項途中から再開します！

粘り強く団体交渉を行う本部交渉団を職場から支えていこう！